



2023-2024 ガバナー月信
GOVERNOR'S
Monthly Letter



© 中山仁史 / K2



地域に希望を育てよう！

国際ロータリー第2510地区 2023-2024年度ガバナー 松浦 光紀

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7F

TEL (011) 207-2510 FAX (011) 207-2512 E-mail: rid2510@pxva.ne.jp <http://rid2510.org>



世界に希望を生み出そう



国際ロータリー第2510地区

2023-2024年度地区目標

「地域に希望を育てよう」

- 1. クラブの戦略計画を打ちたて、会員増強を実現しよう
- 2. ポリオデーに参加しよう
- 3. 地域に根ざした青年奉仕を充実させよう
- 4. オンリーワンチャレンジをみつけよう

- ・ ガバナーメッセージ..... 1p
- ・ 【第一報】2024年シンガポール国際大会のお知らせ 2p
- ・ ガバナー公式訪問報告..... 4p
- ・ 新会員の紹介..... 16p
- ・ 8月財団・米山記念奨学会寄付..... 17p
- ・ ハイライトよねやま..... 18p
- ・ コーディネーターニュース..... 20p
- ・ 8月会員数・例会数報告..... 23p
- ・ 地区カレンダー10・11月..... 24p
- ・ 2026 - 2027 年度ガバナーノミニー候補者推薦のお願い・ガバナー事務所からお願い 25p
- ・ ガバナー事務所だより・編集後記..... 26p
- ・ 表紙の解説..... 27p



ガバナーメッセージ

国際ロータリー2510地区
ガバナー

松浦 光紀

(小樽南 RC)

9月のガバナー公式訪問は、第1週の4日に29番目の訪問として、第6グループの蘭越 RC から始まりました。私は、2年前に第6グループのガバナー補佐を務めさせて頂いた折、地域に対する奉仕活動として、当時の大日向ガバナーと共に蘭越 RC の尻別川清掃活動に参加させて頂きました。今回の訪問は旧友と再会した感があり、活動の健闘を交わしました。この週は、後志地方の第6グループを中心に、小樽 RC、倶知安 RC、第7グループの千歳セントラル RC と訪問させて頂きました。第2週の11日からは、三石 RC から第8グループの様似 RC、浦河 RC、静内 RC と訪問させて頂き、第7グループの千歳 RC、由仁 RC と訪問し、由仁町長はクラブ会員でもあり、表敬訪問致しました。第3週は、札幌西 RC、札幌大通公園 RC、第9グループの室蘭東 RC、室蘭 RC、第10グループ長万部 RC と長万部町長に表敬訪問させて頂きました。第4週の25日は洞爺湖 RC では町長もクラブ会員であ

り、表敬訪問させて頂きました。岩見沢東 RC、札幌はまなす RC、余市 RC、えりも RC と地区内のグループを越え、バラバラの地域の訪問となり地区内を走り回りました。

全般的に、クラブの歴史や、クラブの規模や会員数の増減、会員の平均年齢、地域の環境等、クラブ毎に多岐に渡り状況が異なり、一つ一つ丁寧に考察し、ガバナー補佐の方々と意見を交換し、未来に向けた対応が欠かせない業務になると感じました。9月のクラブ訪問には、菊田ガバナー補佐、藤城ガバナー補佐、山口ガバナー補佐、佐藤ガバナー補佐、前田ガバナー補佐、久保ガバナー補佐、鈴木ガバナー補佐、宮村ガバナー補佐と担当されるクラブに同行願い、助言を頂きました。感謝申し上げます。

【第一報】2024年シンガポール国際大会のご案内



RI国際大会推進委員会（PG）

大日向豊吉

シンガポールにおいて開催されます国際大会にご参加ください。
シンガポールには、大小のビジネスイベントを主催し、素晴らしい体験を参加者に届ける力があります。

新たな視点、インスピレーション、希望を互いに分かち合うことが出来るでしょう。
世界一流のダイニングや文化的なアトラクション、エネルギー溢れる講演と分科会等、国際大会は特別な体験に溢れております。

世界と希望を分かち合うため、皆様のご参加をお願い致します。

お申し込み期限

2023年12月29日（金）まで

<日程>

2024年5月24日（金）～29日（水）4泊6日

<旅費>

お一人様 380,000円

<航空会社>

C I（中華航空）エコノミークラス ビジネスクラスへ変更する場合は+240,000円

<利用ホテル（予定）>

VOCO オーチャード シンガポール IHGホテル（予定）

MRT オーチャード駅から徒歩5分に位置し、シンガポール随一のショッピングモール、ION ショッピングセンターから徒歩5分です。マリーナベイと市庁舎から車で10分、チャンギ国際空港から車で20分です。

<旅行費用に含まれる内容>

航空料金（中華航空）

宿泊料金…シンガポール4泊（朝食付き）※2名1室利用（アーリーチェックイン含みます）

日程表の送迎費用 空港とホテルの送迎及び、団体行動中は係員のご案内いたします。

<旅行費用に含まれない内容>

- ・ 燃油費用、空港利用料、その他諸税 約45,000円（2023年9月現在のものの変動があります）
- ・ 任意 / 国際大会登録料（各自）、北海道ナイト参加費（各自）、オプションツアー代、海外旅行保険、
- ・ 一人部屋希望者追加費用 220,000円

【ご案内事項】

参加人数を20名様で旅行費用を算出させて頂きましたが、人数に満たない場合は変更になる場合がございます。また、お一人部屋、ベッドタイプのご希望は施設の事情によりご希望に添えない場合もございますので予めご了承ください。

なお、御取消料は国際大会による現地施設の都合により、お申込み後からは旅行費用の**30%**がかかります。

その後、御取消料はお取消し日より取消料率が変わります。（国際大会期間の為、規定が厳しいことをご理解願います。）

2024年シンガポール国際大会日程表

日次	月日 (曜)	地名	現地時間	交通機関	行 程	食 事
1	5 / 24 (金)	千歳発 台北着 台北発	15:00 18:15 20:05	CI131 CI755	空路にて台北空港経由シンガポールへ <シンガポール泊>	夕: 機内
2	5 / 25 (土)	シンガポール着	00:40 02:00	専用車	到着後ホテルへ(ホテルアーリーチェックイン) 休息を 別途: 添乗員大会登録受付IDカード取得 <シンガポール泊>	朝: ○ 昼: 夕:
3	5 / 26 (日)	シンガポール	午前	専用車	*大会日程 5月26日(日)~開会式出席 会場: マリーナベイ・サンズ・エキスポ&コンベンションセンターにて *北海道ナイト開催 <シンガポール泊>	朝: ○ 昼: 夕:
4	5 / 27 (月)	シンガポール			*大会日程 5月27日~29日 本会議 29日閉会式 <シンガポール泊>	朝: ○ 昼: 夕:
5	5 / 28 (火)	シンガポール		専用車	終日: 自由行動にて(チェックアウト11:00) 夕方: シンガポールチャンギ空港へ	朝: ○ 昼: 夕:
6	5 / 29 (水)	シンガポール発 台北着 台北発 千歳着	02:00 06:55 08:35 13:30	CI756 CI130	空路にて北海道へ	朝: 機内 昼: 夕:

* 運輸機関、現地事情によりスケジュールが多少変更になる場合がございます。

⑧ パスポート残存期間: シンガポール入国時に有効残存期間が6ヶ月以上必要です。ご確認くださいませ。

【お申込み・お問合せ】

(株) オールイントラベル 函館市富岡町1-3-3

電話: 0138-44-3939 FAX: 0138-41-8890

メール: hayashi@all-in-travel.co.jp

担当: 林 真彦

ガバナー公式訪問例会報告

札幌東ロータリークラブ

8/3

8月3日（木）に松浦光紀ガバナー、山口史朗第5グループガバナー補佐、中山仁史地区幹事をお迎えし、ガバナー公式訪問例会を開催いたしました。

例会に先立ち、10時30分から行われた会長・幹事懇談会では、当クラブの概況やクラブ運営方針・活動計画を説明させていただいた後、松浦ガバナーから若手会員等、ターゲットを絞った会員増強やクラブ中長期計画の取り纏めにあたってのアドバイスをいただきました。11時30分からのクラブ協議会では、ガバナー及びガバナー補佐にご挨拶を頂戴した後、20名の委員長から活動内容の発表をさせていただき、最後に松浦ガバナーから、参加者全員が男性であったことを念頭に女性会員の拡大の流れや、世界平和の推進、メンタルヘルスの取り組みといったR1及び地区重点目標を踏まえた講評をいただきました。

12時30分からの例会では、提唱クラブである北海高等学校インターアクトクラブのバッジ授与式を冒頭に行い、松浦ガバナーから本年度新入生7名にインターアクトバッジを授与いただきました。卓話ではガバナー自身の生い立ちやロータリー歴にはじまり、今年度のR1テーマ及びDEIの推進といった国際ロータリーの潮流、若手・女性会員の増強、ポリオ根絶に向けた資金援助支援についてのお話をいただきました。ご多忙の中、クラブをご訪問いただき心より感謝申し上げます、報告といたします。



新札幌ロータリークラブ

8/23

今年度、少し早めにスタートしたガバナー公式訪問。我々、新札幌RCにおいては、8月23日にR1第2510地区松浦光紀ガバナーをはじめ第5グループ山口史朗ガバナー補佐、拝田昇地区幹事をお迎えする運びとなりました。

クラブ協議会に先立ち、まずは当クラブ会長、幹事、会長エレクトを交え、当クラブの特徴や活動報告などをさせて頂きました。その上で松浦ガバナーより今後のより良い活動とクラブの活性化のために、適格なアドバイスを頂きました。時代が目まぐるしく変わる中、時代に合った活動を、そして新札幌RCの特徴をもっと知らしめて行けるような活動を、さらに、広く広報活動を実践していこうと強く感じたアドバイスでした。

その後のクラブ協議会においては、各五大奉仕委員長より活動報告などをさせて頂き、具体的でより踏み込んだお話が出来たと感じます。

ランチ懇親会は和やかなムードの中で進めていくことが出来ました。

写真は、当クラブ会員一同より感謝の意を込めまして花束贈呈をさせていただいた時の写真です。プレゼンターには、当クラブが今年度、お世話クラブとしてお迎えしている米山記念奨学生のエミラさんに行って頂きました。

この度のガバナー訪問も大変有意義で貴重な時間となりました事に感謝申し上げます、ご報告とさせていただきます。新札幌RC一同、心より感謝申し上げます。



札幌西北ロータリークラブ

8/24

去る8月24日（木）松浦光紀ガバナー、中山地区幹事、藤城第4グループガバナー補佐をお迎えしてガバナー公式訪問が行われました。

午前10時からの会長、副会長、幹事との懇談会を行い、午前11時から開催したクラブ協議会では、各委員長より今年度の活動方針を報告いたしました。例会におきましては、松浦ガバナー、中山地区幹事、藤城ガバナー補佐よりご挨拶とお話を頂戴し、会員一同大変勉強させていただきました。松浦ガバナーからは、国際ロータリーとロータリー財団のビジョンを実現するための方向性と優先事項をご説明いただきました。ポリオ根絶の為にクラブ活動の中で何ができるか、会員のクラブ活動参加を促すために、クラブ各リーダーにはリーダーシップ育成とスキル研修実施を求められました。DEIの最も重要な側面である、最高の人材、最高のアイデア、最高のパートナーシップを受け入れるオープンでインクルーシブな組織への体質改善というものを深く理解する貴重な時間となりました。最後に松浦ガバナー、中山地区幹事、藤城ガバナー補佐を囲みメンバー全員で記念写真を撮影し、公式訪問を終了しました。



江別西ロータリークラブ

8/29

松浦ガバナー、伊藤嘉英地区幹事、菊田政徳ガバナー補佐、新館ガバナー補佐幹事に出席いただき8月29日（火）江別西RCの会長・幹事会（16:30～17:30）クラブ協議会（17:30～18:30）ガバナー公式訪問（18:30～20:00）を楽しみながらも粛々と開催しました。

会員増強の話になり、松浦ガバナーから「女性会員を増やす依頼」と「農業従事者をロータリークラブに増やす問題提起」がありました。女性がロータリークラブに入会すると過去のクラブ運営から視点変わりクラブ運営が進化するのではないか？本州に大量の農作物を供給している北海道のロータリークラブの農業関係者のロータリアンが非常少ないと思うが増やす対応策は有るか？江別西RCは全会員34名中女性会員は3名、会員増強委員会は今年度1名増員で努力している事と、農家のロータリアンは2名ですが、努力しているにもかかわらず苦戦していると報告しました。

30年のベテランになると何十万回から何百万回の製造体験がありますが、農業では30回の農作物の収穫経験しか無く、大型の機会化を導入し、肥料と農薬の改善が進んでも自然の天気によって左右される可能性が多い。雨、風、太陽に農作業を対応する為、昼の例会出席は予定していても難しいので夜間例会を増やす事を考える。農家が合併し大規模化した株式会社の農業団体の会社が増えれば時間的余裕が生じ例会出席の可能性が増す事等説明をしました。

今年度の活動計画書について各委員会の委員長が説明をし、松浦ガバナーと菊田ガバナー補佐から講評をいただきましたので努力不足と感じた問題につきましては、今後さらなる推進をします。食事会后、記念写真を撮りガバナー公式訪問は終了しました。

江別西RCの公式訪問にご出席いただき感謝します。ありがとうございました。

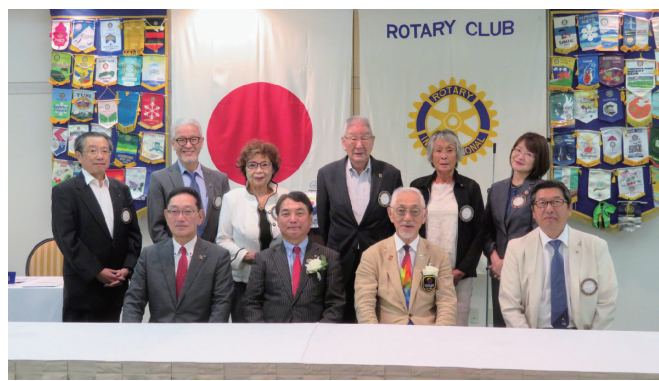


札幌清田ロータリークラブ

8/29

8月29日（火）、松浦ガバナー、山口ガバナー補佐、伊藤地区幹事の3名に御訪問訪問頂きました。10時30分より、当クラブ真鍋会長、三戸会長エレクト、中島幹事と共に懇談会を行ないました。真鍋会長より、当クラブ26年の歩み及び現況報告、今年度の活動方針などを説明致しました。松浦ガバナーは、札幌清田RCは全員がロータリーを熟知しており、会長・幹事の経験回数も多く、クラブ運営もスムーズに推移していると述べられました。また、ロータリーについても大変参考になるお話も沢山頂きました。11時30分よりクラブアッセンブリーが開催され、各委員長より活動方針と計画を発表しました。その後、委員長以外の会員にも発言する機会を頂きました。楽しいアッセンブリーになり、会員共々喜んでおります。引き続き12時30分より例会が開催され、松浦ガバナーより幼少からの生い立ち、お仕事の内容、ロータリーに対する思いなど幅広くお話を頂き、さらに社会のニーズに合わせた情報を若い世代に伝え、対外的にアピールして欲しい。特に少人数のクラブは“出来る事を集中して実行して下さい”と温かい励ましを頂きました。

長時間に渡り終始温厚で気さくな人柄を印象付けるガバナーの公式訪問でありました。この度のガバナー公式訪問におかれましては、会員一同心より感謝御礼申し上げます。有難うございました。



蘭越ロータリークラブ

9/4

9月4日（月）午前10時半より蘭越商工会応接室において松浦光紀ガバナー、佐藤慶一第6グループガバナー補佐、伊藤嘉英地区幹事をお迎えし蘭越RC山田一晴会長、白石勇幹事、志比川武会長エレクト同席のもと会長・幹事懇談会を開催致しました。現在、会員9名で活動している当クラブの活動の様子をご説明し、ガバナーから『蘭越クラブは小人数故に独自に委員会を編成し活気のある活動を行っていることが伺える。特に公共イメージ委員会の名称を使っているクラブはまだ少なく、よく理解されている。』とお言葉を頂きました。

引き続きクラブ協議会を開催し各委員長が今年度の活動計画を発表致しました。松浦ガバナーから『現在の人数ですべての奉仕活動を行うことは無理かもしれない。何かに特化した活動が出来れば十分ではないか。また、会員増強も遠方の方でもWebを使った例会参加も可能。』とご意見を頂きました。その後の例会では、会務・幹事報告の後、松浦ガバナーの卓話を拝聴し、佐藤ガバナー補佐からもご挨拶頂き閉会となりました。



小樽ロータリークラブ

9/5

9月5日（火）松浦光紀ガバナー、第6グループ佐藤慶一ガバナー補佐、齋藤仁地区代表幹事をお迎えしガバナー公式訪問を賜りました。午前10時30分より当クラブの会長、会長エレクト、幹事で懇談会が行われ、11時30分からはクラブ協議会を開催し各委員長から活動計画及び現状報告を行いました。その後は松浦ガバナーから其々の委員会の活動計画や報告に対する御感想または御指導や御指摘をいただきました。12時30分からの例会にて松浦光紀ガバナーより卓話を賜り自身の入会のきっかけと経歴、国際ロータリークラブとRI会長方針からDEIを通し変化に対応する事の大切さ、又此れからのロータリークラブの将来を見据え女性会員に対する取り組みやメンタルヘルスについての今後の在り方やインパクトのある奉仕活動について、小樽RCの植樹活動は何十年後に素晴らしい木が育つインパクトのある活動と申します。短い時間の中で貴重な講話を終えられ無事公式訪問を終了いたしました。



2023-2024年度 小樽ロータリークラブ「ガバナー公式訪問」令和5年9月5日 グランドパーク小樽

千歳セントラルロータリークラブ

9/5

2023-2024年度、9月5日ガバナー公式訪問例会が千歳グランテラスにて行われ、松浦ガバナー、前田ガバナー補佐、齋藤地区代表幹事と16時30分から会長・幹事懇談会が行われました。ごあいさつのあと、クラブの活動概要を会長より説明をし、その後、6分におよぶ動画を上映いたしました。近年の事業、過去からの継続事業、長泉RCとの友好クラブ締結の写真等をご覧いただきました。ガバナーからは平均年齢が若く、女性会員比率が23%と高く新しいことにも活発に取り組み素晴らしいのではないかとご指摘をいただきました。

17時15分からは理事懇談会に移り、大下直前会長、高野副会長、臼田会長エレクト、本村副幹事が加わり、それぞれの組織での役割を発表してもらいました。

食事では当クラブのロータリー農園で収穫したジャガイモをガバナー含めて全員で食べていただきました。18時30分には例会が始まり、ガバナーによるお話を講演していただきました。アメリカでの研修、感じたこととお話しされ、「千歳セントラルRCは、本当に素晴らしい実績をお持ちで、今日は噂では聞いていましたが、こんな素晴らしいクラブだとは思いませんでした。もっともっと皆さん方にアピールできるクラブだと感じました。」とお褒めの言葉をいただき例会を閉会いたしました。



■会長・幹事会

中川会長から本年度の活動目標を発表させて頂き、松浦ガバナーからアドバイスをいただきました。ガバナーの年次目標と重点項目の具体例をお話しして頂きました。

会員増強戦略ーランクづけを行い対応する、
 女性会員増へー女性の参加しやすいイベント開催、(農地を借りて収穫～奉仕) など
 ポリオー野生型はほぼ無い 不衛生な環境、生活用水での感染はまだまだ
 青少年奉仕、交換留学生ー例会出席訪問 システム構築、クラブより参加費がでる
 地域への恒久的な奉仕ー 栗山町、高校に女子野球部を創設し学生増へ など

■クラブ協議会

本年度倶知安RCの各委員長から活動目標・活動計画を発表させて頂き、松浦ガバナーから好評いただき委員会ごとにアドバイスをいただきました。

■会長挨拶・会務報告(中川会長)

本日は松浦光紀ガバナーをお招きしてのガバナー公式訪問となります。

10時より会長・幹事懇談会、11時よりクラブ協議会が行われ、様々なご意見を頂戴致しました。
 食事後に松浦ガバナーよりお話しして頂きます。

■松浦光紀ガバナー

数年前にガバナー補佐を終え、まさかガバナーを拝命するとは思いませんでした。

グループ内の事は補佐を経験した時におおよその理解はしてましたが、今回はガバナーとしての役務上のお話しをします。

まず、世界のロータリーでの女性の割合は35%ですが日本の場合は8%で、来年のRI会長も女性です。
 第2510地区のテーマ「地域に希望を育てよう」としましたが、
 DEI(DIVERSITY、EQUITY、INCLUSION)

～ 多様性 公平さ インクルージョン ～

が地区活動やクラブ活動の中で、図られているかどうか、メンタルの弱ってる子供に奉仕とは？

特にインパクトのある奉仕活動が単年度で終わらせるのではなく、将来を見据えた地域に夢をもたらす地域奉仕活動が求められます。

ポリオに関しては、野生種に由来する症例が7例となっておりますが、ワクチン由来も増えておりその対策も考えなければなりません。

今年1年間、どうぞ宜しくお願い致します。



岩内ロータリークラブ

9/7

松浦光紀ガバナ公式訪問を終えて、岩内RCにお越しいただきありがとうございます。大変貴重なお話を会長・幹事会、クラブ協議会・例会にてお話ししていただきました。

現在ロータリークラブ開設から117年が経過し活動内容・定款は時代に合わせ、大きな改訂がありました。DEI(多様性、平等さ、インクルージョン)を通じ、変化に対応することが求められています。多様性に富んでいるか、平等に運営されているか、会話は風通しよく、意見の言い合える場になっているかを検証して、自由な議論を今まで以上に進めるようにお願いされていました。

またロータリー活動の認知度を一般の人にどのように分かってもらえるか、広報活動がいかに重要なかわかりやすくクラブ協議会の中でも説明してもらいました。会員増強では30代、40代、の年齢の若い会員や女性会員の構成は非常に低い状況であります。年齢の若い会員の入会は、クラブ存続の上で、欠かせない状況です。若い世代の勧誘に関して力を入れて頂きたいと考えています。

現状で何が障害になっていて、何の理由があり入会してもらえないのかを、その人の立場になって考え改善していく必要が大きな成果となることを教えてもらいました。岩内RCの今後の活動と成果を楽しみにお待ちしております。



小樽銭函ロータリークラブ

9/7

本年度の小樽銭函RCガバナー公式訪問は、我々の親クラブにあたる小樽南RCの松浦光紀ガバナーの訪問で終始アットホームな雰囲気での開催となった。会長・幹事会においては、我々ロータリークラブ活動の地域への広報活動の必要性に関してお話を頂き、本年で40回目を迎える小樽銭函ロータリー杯少年野球大会やパークゴルフ大会、地域の清掃活動に関して今後も継続して活動して頂きたいと好評を頂いた。クラブ協議会においては、2030年を目標とする新たなロータリークラブ活動、次世代へのロータリアンの育成のための我々の役割に関してお話を頂いた。また国際ロータリーで推進しているDEI(Diversity多様性、Equity公平性、Inclusion包括性の頭文字)に関して今後のグローバル化や価値観の多様性、労働力の変化などに関するお話も頂き参考になった。



三石ロータリークラブ

9/11

9月11日、松浦光紀ガバナー、久保佳幸ガバナー補佐、斎藤仁地区代表幹事をお迎えしガバナー公式訪問が開催されました。17:30から行われたクラブ協議会では、クラブの概要、活動状況の説明後にガバナーのお話があり、クラブの公共イメージを上げるためには、奉仕活動の新聞掲載、標語看板を道の駅等の隣接地に設置することが有効な手段と述べられました。また、インパクトのある奉仕活動として、老人向けのイベント開催や地域の学校、教育委員会との共同作業が効果的だと話されました。

18:30から行われた例会での講話では「D・E・I」、ポリオ根絶活動の現状についてお話がありました。

最後に、「一番大切なのは思いやりの心を思って行動することです」と述べられ、食事、記念撮影を行い閉会となりました。



様似ロータリークラブ

9/12

一時間ほど時間の余裕ができたため、会員の奥さん（彼女はアポイ岳ジオパークの認定ガイドで学芸員の資格を有する）の解説付きで、町内の名所案内としゃれこんだ。様似町は道内でも有数の歴史の古い町である。松前藩の「運上屋」がエンルム岬のすぐ近くに置かれ、松前藩から江戸幕府の直轄地になると「運上屋」は「会所」とその呼称を変えた。会所の名は今も「会所町（かいしょまち）」として、地名にその名を残す。蝦夷地測量で有名な伊能忠敬も「シャマニ会所」に三泊した・・・との記録も残る。エンルム岬はその両側が湾状の天然の良港となっており、東風にも西風にも対応可能な港である。蝦夷地の産物の商いで巨万の富を得た高田屋嘉兵衛も、又、この天然の良港をよく使い、その足跡を印している。（その子孫は今も様似町に健在でいらっしやる）塩釜トンネル、ローソク岩、親子岩、ソビラ岩、エンルム岬と続く奇岩類は、アポイ岳の成り立ちでもあるプレート同士の衝突と、深い関りを持っている。プレート運動によって生じた割れ目に、地下深くのマグマ（岩石状であるマントルが溶けたもの）が貫入し、固まってできた「ひん岩（がん）」が浸食されてできたものである。その「ひん岩」の連なりは、正に絶景というしかない。

アポイ岳は標高810mの低山ながら、「世界でここにしかない花」（＝固有種、ヒダカソウ、アポイアザミ、エゾコウゾリナ等5種）その他亜種や変種を加えるとアポイ山塊周辺に固有な植物の数は30種にもなり、全部で80種ほどの高山植物と共にアポイ岳高山植物群落として、国の特別天然記念物に指定されている。その世界でも珍しい高山植物群落の生成には、夏季の霧の多い冷涼な気候と共に、アポイ岳全山を覆う「カンラン岩（橄欖岩）」によるところが大きい。「カンラン岩」は地球内部を形作る「マントル」の主成分であり、「はやぶさ」が持ち帰った小惑星イトカワの微粒子にも含まれる事が判明した。カンラン岩は地球、太陽系、さらには宇宙の成り立ちを解明する手掛かりとして、数多くの科学者が研究している鉱物である。カンラン岩は超塩基性岩と言われる岩で、その土壌は植物にとって非常に生育しにくい環境をもたらす。高山植物と呼ばれる植物の多くは、氷河期に南下し、分布を広げ、温かい間氷期に高山帯などに逃げ込み、種の保全を図った戦略を有する。低山であるアポイ岳に高山植物が根付いたのは「カンラン岩」の作った特殊な土壌、すなわち、植物の生育しにくい土壌と、冷涼な気候等が本州の高山と同じような環境を生み出し、他の植物の侵入を阻んだというわけである。可憐な高山植物は何を隠そう、苛酷な自然を生き抜いた『植物の猛者』なのである。

先ほど、「カンラン岩」は地球の内部を形作るマントルの主成分と書いたが、マントルは我々人類や他の生物の





住む地殻（海底地殻で平均6～7 km、地表から平均30～40 km）の下深く、約2900 kmの層で存在し、その下には内核・外核（主に鉄）が約3500 kmの層をなしている。地球の半径は約6400 kmなので、地殻は半径の2%にしか過ぎない本当に薄い層なのである。人類史上一番深く掘った穴は、ロシア北西部ノルウェーとの国境近くのコラ半島で、1970年に掘削半ばで中止された直径わずか3 cmほどの、およそ12 kmの穴である。地殻の半分にも満たない深さなので、未だかつて生のマントルを見た人類は存在しない。そのマントルを

地表で見られるのがアポイなのだ。アポイが世界ジオパークに認定された所以である。

肝心のガバナー公式訪問は、ガバナーの人間性を体現し、和気あいあい、終始穏やかに推移し、ガバナーの『小さいクラブながら、様々な取り組みを為し、バランスのとれた良いクラブである。これからも頑張っていて欲しい』との温かい言葉で幕となった。

以上、様似町の紹介が主になった事と、学術論文的になった事をお詫びし、報告を終了する。



静内ロータリークラブ

9/13

9月13日、ガバナー公式訪問です。静内RCの雰囲気は少しでも感じて貰える様に、私達が通常行っている例会場で、円卓形式の座席と致しました。先刻、会長・幹事会を別室にて行い、松浦ガバナー、久保ガバナー補佐、斎藤地区代表幹事そして、当クラブからは、西村会長エレクト、山田幹事、福田副幹事、私、同席のもと、久保ガバナー補佐の進行で円滑に会議が行われました。内容は、静内RCの活動や現状を説明し、ご理解頂き、更に、地域での知名度向上の為に、PR活動も重要な事だと、有意義な意見交換が出来たと思います。又、会員の平均年齢が他のクラブと比べて若いと、驚かれていました。クラブ協議会では、私達がやっている奉仕活動に、ご理解頂き、これからの地区や静内RCでの活動に活かされる事と思います。例会では、松浦ガバナーより講話を頂き、松浦ガバナーのロータリーに関する見識の深さには感心致しました。公式訪問も中間位とお聞きし、今後も松浦ガバナーには健康に留意され、責務を全うされる事を願います。



千歳ロータリークラブ

9/14

R I 第2510地区松浦光紀ガバナー（小樽南RC）、R I 第2510地区第7グループ前田利和ガバナー補佐（恵庭RC）、廣部隆夫地区財務委員長（小樽南RC）をお迎えしてのガバナー公式訪問が開催されました。ANAクラウンプラザ千歳にて新型コロナウイルスも5類に移行となり、マスクも無いコロナ前の雰囲気で行われました。始めに前田会長・小畑副会長・宮川幹事・稲川会長エレクト出席による会長・幹事懇談会が行われました。会長からは今年度のテーマである「思いやりの心で行動しよう～みんなの為になるように～」について説明させて頂いた後に松浦ガバナーから様々なご意見とご指導を頂きとても有意義な時間となりました。

続いて各理事・委員会にも出席頂いたクラブ協議会では年度計画や委員会報告を説明し、松浦ガバナーからはインパクトのある奉仕活動についてお話頂きました。ロータリーサタちとせや千歳ロータリーの森林への取り組みについて評価して頂き、貴重なアドバイスも頂きました。

その後、例会の卓話ではDEI（多様性・平等さ・インクルージョン）についても詳しくわかりやすくお話頂き大変有意義な時間となりました。例会終了後には、松浦ガバナーを中心に記念撮影を行いガバナー公式訪問を終了致しました。

お忙しい中お起こし頂きました松浦ガバナー、前田ガバナー補佐、廣部地区財務委員長に心より感謝申し上げ報告とさせていただきます。



札幌西ロータリークラブ

9/19

9月19日（火）、札幌プリンスホテル国際館パミールにおいて、松浦光紀ガバナー、藤城英明ガバナー補佐、斎藤仁地区代表幹事をお迎えしての「ガバナー公式訪問」の諸行事を開催しました。

まず、最初の会長・幹事会では、当クラブの歴史や特徴、現状認識や今後の課題についてご説明し、その後のクラブアッセンブリーでは、各委員長より今年度事業の計画と進捗についての報告があり、松浦ガバナーからは様々なアドバイスをいただきました。特に、公共イメージ向上の重要性や、クラブとして中長期の方針を検討し見出ししていくことの必要性を強調されました。

そして、例会でのガバナー卓話においては、「ロータリーができてから117年が経過し、時代の変化に合わせ、今はDEI（多様性、平等さ、インクルージョン）を通し、変化に対応することが求められている。多様性に富んだ人財を受け入れ、何でも意見を言い合える風土を創ることが大事。若い世代や女性の会員拡大に取り組んでいただきたい。」との激励をいただきました。

当クラブとしても、松浦ガバナーにご指導いただいたことを踏まえ、今後のクラブの活性化に取り組んで行く所存です。



札幌大通公園ロータリークラブ

9/19

9月19日(火)、松浦ガバナー、山口ガバナー補佐、斎藤地区代表幹事をお迎えしてガバナー公式訪問が開催されました。会長・幹事会では、当クラブの現状報告ならびに少人数でのクラブ運営の良し悪し等をご報告させて頂きました。

ガバナーからは、他クラブの取組み、クラブ運営へのアドバイス、会員増強についてなど様々な貴重なご意見、ご助言を頂戴いただきとても有意義な時間となりました。

その後は、ほっとパーティー例会にご参加いただき、お酒を飲みながらリラックスした中で会員皆と今後のクラブのありかたなど様々な意見交換をさせて頂ける良い時間となりました。

松浦ガバナー、山口ガバナー補佐、斎藤地区代表幹事におかれましては、お忙しい中での当クラブ訪問に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



室蘭東ロータリークラブ

9/20

9月20日(水)ガバナー公式訪問が開催されました。会長・幹事懇談会には松浦光紀ガバナー・斎藤仁地区代表幹事・鈴木高士第9グループガバナー補佐・同じく守屋聡ガバナー補佐幹事の4名と当クラブからは森秀樹会長・竹本次年度会長、荒井孝亘幹事が参加しました。森会長からは、クラブ自慢・我クラブの特筆される事業について発表致しました。この時点でガバナーは約半数近くクラブ訪問を終えており、各クラブの事例、思い出のエピソード等々を聴かせて頂き、楽しく有益な時間を過ごしました。

◎クラブ協議会では、担当委員長より本年度の活動計画が発表されました。ガバナーからは関心ある事項について質問を頂き、意見交換がありました。特に青少年分野のインターアクト、ローターアクトに強い関心を示されていました。

会員増強について女性会員の増強、特に30代・40代の若い会員の加入に力を入れて下さい。新入会員に対し会費を工夫し、段階的に増額する方法についてのアドバイスは参考になりました。

◎例会では松浦ガバナーの講和を頂きました。懇談会・クラブ協議会でお話し頂いた内容の要約を中心にお話を伺いました。特にコロナから解放されロータリーをエンジョイしましょう。「ポリオ根絶、会員増強」のお話を興味深く聴きました。

最後に、全員で記念撮影を行いガバナーの今後のご活躍をお祈りし、散会いたしました。

◎第9グループのIMは登別RC主催で令和6年2月10日に決定しております。ガバナーがIMに参加されるお約束を頂き、登別温泉グランドホテルでお会いできますこと楽しみにしております。



室蘭ロータリークラブ

9/21

9月21日（木）に松浦光紀ガバナー、齋藤仁地区代表幹事、鈴木高士ガバナー補佐、守屋聡ガバナー補佐幹事をお迎えして公式訪問を開催しました。

午前10時半から開催された会長・幹事懇談会では、今年から市民踊りに参加して子供たちにロータリー活動を知ってもらえるようプレゼントを配布したことを報告し、良いことだと評価していただきました。また、会員増強や財務運営、未来ビジョン委員会など具体的にアドバイスをいただきました。クラブ協議会では各担当者から活動方針・活動計画を発表し、報告内容が充実しているとのこと講評をいただきました。公式訪問例会では松浦ガバナーより、若い人や女性の会員増強などについて具体的な例を挙げながらご講話をいただきました。

当クラブが44番目の訪問地という事で、前日は室蘭で宿泊し室蘭名物の焼き鳥を召し上がったと伺いました。例会修了後は次の訪問地である長万部に向かわれるとのことでした。2510地区という広大な地区のガバナーは本当に大変だと思いました。お身体をご自愛いただき、残り25クラブの訪問を無事に終わられますようお祈りいたします。



長万部ロータリークラブ

9/21

9月21日（木）松浦光紀ガバナー、第10グループ宮村拓郎ガバナー補佐、齋藤仁地区代表幹事をお迎えして、公式訪問が開催されました。

松浦ガバナーご一行は、室蘭市内クラブの公式訪問を終えて、15時30分長万部庁舎に到着。

当クラブが庁舎前に設置・寄贈した大理石の「町民顕彰碑」、ポケットパークの「花壇」を紹介。

16:00 木幡町長を表敬訪問。佐藤副町長、近藤教育長と新幹線建設工事状況などを懇談。

16:30 会長・会長エレクト・幹事会。村松会長から、当クラブの現状と課題についての報告に対してガバナーから、楽しいクラブ活動の実践についてきめ細やかなご指導をいただきました。

17:30 クラブ協議会は、通常の例会場「あつまんべ」で開催。村松会長は、本年度の方針では、少数会員のクラブですが、地域密着の奉仕活動の実践を通して、会員純増でロータリーの火を灯し続ける決意を報告。続いて各委員長から活動方針が報告された。

松浦ガバナーはR1のメッセージを伝えていくのが仕事であり、地区として何ができるかです。当クラブは、少人数の中でよく頑張っている、その点は会員数の問題ではない。親睦と奉仕が大切。町内の組織との連携で何ができるか、すそ野を広げ地域のためのロータリーを目指しては、と講評。

続いて、五大奉仕委員会の各委員長の報告に対してガバナーは、クラブの活性化について、花壇の管理は大変です。町民に参加を呼び掛けて、他の事業でも町内の組織との協力体制を構築などRC活動の取り組み方についてご指南いただいた。

18:30 第2498回例会。ガバナー公式例会の卓話で、R1は100年経過して改革された。女性の入会を認め、女性がクラブ会長に、女性のガバナーを迎え、女性のR1会長が誕生した。

また、地球上の戦争、紛争の被害者は子ども達だ。また、ポリオの根絶では、各クラブ1人30ドルの協力子ども達を救っていききたい。R1は平和を希求する奉仕活動の土壌です。広範囲にわたり意義深い卓話

19:30 夜間例会場「丸金旅館」で懇親会。みんなで和やかに親睦を深め、記念撮影。松浦ガバナーご一行の皆様、公式訪問誠にありがとうございました。



2023年9月21日松浦ガバナー公式訪問

新会員のご紹介



札幌はまなす RC
高岡 真士
令和5年7月4日
サービス業



札幌はまなす RC
三津橋 智
令和5年7月4日
建設業



札幌はまなす RC
湯浅 一哉
令和5年7月4日
電力送配電事業



岩見沢ネクスト
ロータリー衛生クラブ
若浦 和幸
令和5年8月23日
給排水



岩見沢ネクスト
ロータリー衛生クラブ
浮田 直樹
令和5年8月23日
生命保険代理店



岩見沢ネクスト
ロータリー衛生クラブ
齋藤 昌也
令和5年8月23日
ダイニングバー



札幌モーニング RC
廣田 勝利
令和5年8月23日
教室長



岩見沢 RC
坂本 和之
令和5年8月31日
新聞業

※入会日順

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

米山功労者

砂川RC	山田	大	会員	(1回)	8月25日
砂川RC	小林	公民	会員	(6回)	8月25日
札幌南RC	赤地	勇己	会員	(1回)	8月30日
札幌南RC	湊	秀樹	会員	(1回)	8月30日
札幌南RC	寺江	伸一郎	会員	(1回)	8月30日
札幌南RC	杉澤	謙次郎	会員	(1回)	8月30日
札幌南RC	佐藤	信也	会員	(1回)	8月30日
札幌南RC	渡邊	宙	会員	(1回)	8月30日
札幌南RC	山上	晃広	会員	(1回)	8月30日
札幌南RC	金森	淳司	会員	(1回)	8月30日
札幌南RC	滑川	眞永	会員	(1回)	8月30日
札幌南RC	齋藤	友子	会員	(2回)	8月30日
札幌南RC	嶋津	博	会員	(3回)	8月30日
札幌南RC	大谷	荘佐	会員	(3回)	8月30日
札幌南RC	稲津	亘	会員	(3回)	8月30日
札幌南RC	中道	博	会員	(4回)	8月30日
札幌南RC	今井	國雄	会員	(8回)	8月30日
伊達RC	唯木	俊克	会員	(1回)	8月1日

米山功労クラブ

札幌南RC	第52回	8月30日
-------	------	-------

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

砂川RC	沢田	広志	会員	(1回)	8月25日
滝川RC	上田	秀司	会員	(1回)	8月29日
札幌手稲RC	檜山	幸利	会員	(1回)	8月30日
札幌手稲RC	中村	和雄	会員	(3回)	8月30日
札幌南RC	堀元	雅司	会員	(1回)	8月30日
札幌南RC	稲津	亘	会員	(1回)	8月30日
札幌南RC	村山	圭一	会員	(1回)	8月30日
札幌南RC	渡邊	宙	会員	(1回)	8月30日
札幌南RC	本間	良二	会員	(2回)	8月30日
函館五稜郭RC	能戸	彰	会員	(3回)	8月18日
函館五稜郭RC	河村	隆平	会員	(4回)	8月18日
函館五稜郭RC	横岡	孝一	会員	(5回)	8月18日
白老RC	加藤	泰久	会員	(3回)	8月25日

ポール・ハリス・フェロー

滝川RC	前野	史賀	会員	8月29日
滝川RC	高橋	賢司	会員	8月29日
美唄RC	坂東	久男	会員	8月31日
札幌手稲RC	齋藤	利和	会員	8月30日
札幌南RC	須田	守	会員	8月30日



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

ハイライト よねやま

vol.

282

2023年9月13日
発行

1. 理事会と評議員会を開催

8月22日に第40回理事会を都内会議室にて開催しました。当日は、全国から30人の理事、3人の監事、計33人の出席となりました。若林紀男理事長が議長として進行役を務め、第1号～第10号の全ての議案につき、原案通り承認可決されました。



第40回理事会の主な議案は、「評議員候補者」「理事後任候補者」「定款変更」「2022年度事業報告」「2022年度計算書類」「2023年度収支予算書一部修正」「2023年度専門委員選任」の件、などでした。

また、9月7日には第15回定時評議員会を開催しました。今回の定時評議員会は台風接近の

影響を懸念し、ハイブリッド形式で開催されました。全国から評議員25人（うち4人がオンライン）、役職理事6人と監事3人が出席しました。定款により、評議員会の議長は、出席評議員の中から選ばれることになっており、第2750地区の猿渡昌盛評議員が議長に選出されました。

猿渡議長の進行で、報告事項として、①理事会決議報告 ②職務執行の状況報告 ③2022年度事業報告が資料に基づき説明され、続いて理事会から上程された「評議員の選任」「後任理事の選任」「定款変更」「2022年度計算書類承認」など7議案が諮られ、全て原案通り承認可決されました。また、評議員会終了後、4年の任期を終える評議員に、若林理事長から感謝状が贈呈されました。



2. 学友の力を母国に還元 「教育プログラム」開催

8月26日、マレーシア米山学友会の主催で、第1回「MRYA（マレーシア米山学友会）教育プログラム」がオンラインで開催されました。このプログラムは、同学友会会員の個々の知識や技術を社会に還元していくこと、受講者に社会貢献への意識を高めてもらうことを目的としています。

今回は「日本語をボランティアで教える人材育成」をテーマに、日本の総合商社で18年勤務し、10年以上にわたってマレーシアの学生に日本語をボランティアで教えている経験豊富なチン ワエン サンさん(1994-96/東京国分寺RC)



オンライン授業を終えて記念撮影

が講師を担当。参加した20人の受講者に向けて、「どのように学生の興味を惹くか」「どのように学習意欲を引き出すか」「どのようにリーディングやスピーキングの技術を習得させるか」など、日本語を教えるために必要な基礎スキルについて約1時間半の講義を行いました。マレーシアの中学・高校には日本語クラブが多数存在しており、同学友会では、「日本語学習や日本文化への興味関心が強い学生たちの力になりたい」という思いで精力的に活動を行っています。

3. まもなく米山月間資料が届きます (9/20 発送)

10月はいよいよ米山月間です。今年も米山月間用資料を全国の皆さまへお届けします。

毎年恒例の『豆辞典』は、米山記念奨学事業についての情報がほぼ網羅されている小冊子です。会員数分お送りしますので、ぜひ1人一冊お手元にお持ちください。豆辞典を使って米山奨学事業を説明するためのパワーポイントは、

9月13日に当会HPでも公開しました。そのほか「クラブ米山記念奨学委員長の手引き（寄付金マニュアル合併版）」「2022年度事業報告書」「2022年度決算報告」を送付します。追加資料のお申し込みは、同封の「追加資料申込書」に記入の上、お送りください。

4. 寄付金速報 — 10月の米山月間に向けて —

前年同期比

+ 36.5%

普 - 2.6% 特 + 113.6%

8月までの寄付金は、前年同期と比べて36.5%増（普通寄付金:2.6%減、特別寄付金:113.6%増）、約1億670万円の増加となりました。当会は内閣府

より「公益財団法人」の認定を受けており、当会への寄付は所得税、法人税の税制優遇が受けられ、相続税も非課税となります。今年度からは、特別寄付金が新たに50万円に達した方へピンバッジ（銀色）を贈呈します。10月の米山月間も引き続きご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

5. モンゴルの地で感じた米山奨学事業の成果

先月5日に開催された米山学友による世界大会「再会 in 関東」では、多くの学友とロータリー会員が再会を喜びあう場面が見られました。今回は、モンゴルの地で学友と「再会」を果たした会員の話を紹介します。

7月1日、国際ロータリー第2680地区淡路三原RCの国際奉仕委員長を務める奥井正造会員が、モンゴル米山学友会のバグワ・ボヤンジャンルガルさん（2016-19/淡路三原RC）を訪ねるため、5人の会員と共にモンゴルを訪れました。

奥井会員とボヤンさんとの出会いは、同クラブが2016年に世話クラブとなったこと。当時、日本へ来た理由を尋ねると、「博士号を取得して保健師になりたい。モンゴル人は朝昼晩ずっとお肉を食べるため、中高年になると肥満になり、長生きできない。医療の力で生活習慣病を改善し、モンゴル人の平均寿命を5歳延ばしたい」とのこと。この志の高さに感銘

を受けた奥井会員やクラブ会員たちは、その時からずっと彼女を熱心に応援してきました。

そして今回、奥井会員はモンゴルでボヤンさんと再会。時間を忘れるほど話が弾んだそうです。招待されたボヤンさんの家では、お母さんがとても嬉しそうに出迎えてくれ、家族勢ぞろいで机いっぱいの料理が並び、盛大な会となったそうです。

帰国した奥井会員は、「私は、日本で自らの力を高め、自国の発展の力になりたいと志す奨学生を応援することが米山奨学事業の醍醐味だと考えています。その成果をモンゴルで見せてもらえました。学友会に入会し、日本との絆を保とう

うとしている学友たちの健気さが心に響きました。そして、私たちロータリアンが思っている以上に、学友のご家族は米山奨学事業に感謝しているんだな、と感じました」と、ボヤンさんたちと過ごした時間を振り返りました。



ボヤンさん(後列左端)宅で歓迎を受けた奥井会員(中央左端)

感動探しのロータリー



第2地域 ロータリーコーディネーター補佐 辻 正敏 (津RC)

「ロータリーって知ってる?」、「うん、毎週平日の昼間に集まって美味しい御飯食べている人たちでしょ!」、「お金持ちで、時々どこかに寄付したりしている人たちでしょ」、「私たちとは関係ない人達よね」。このように言われている、また実際にこのような話を聞いた方がみえると思います。こんな風に話してみえる方々との違いは何なのでしょう。私たち

もこの方たちも食事はします。しかし一般の方（この言い回しがそもそも物議を醸しますが）で、毎週お昼御飯をホテルやレストランで食べる方は少ないと思います。つまりロータリー会員のような人は全体から見れば少数です。普通の人たち（多様性が叫ばれる中、あえてこの表現を使いますがロータリー等に属している人以外を指しています）にとって、ホテルでの食事は日常ではありません。非日常です。昼間から集まって歌を歌うこともありません。

私が青年会議所に入会させていただいた時、国歌を歌い、JCソングを歌うことには最初馴染めなかったことを思い出します。「なんだこれ!」です。それがいつの間にか日常になりました。ですからロータリーに入会の時も別段変わったものとの認識はありませんでした。すべては慣れです。毎週同じクラブの会員と交流し、例会時間が終わった夜には出直してまた飲みに行く。楽しいです。これが日常になってしまいます。どんどん前述の普通の人たちとは離れていきます。その上、こちらの方が普通と思い出すかもしれません。つまり非日常的になってしまっている自分の過ごし方が日常なのです。

普通の方とは異なる視野、視座、視点でものを見ます。最も今まで知ることの無かったところを非日常的な目によって見えてしまうこともあります。ちょっと視野が広がった感じになりますが、見えなくても良いことかも知れません。しかしその見えなくても良かった部分が日常になってしまったら、もう普通の人、普通の間ではなくなっているのではないのでしょうか。遠い国で食べ物が無くて泣いている子どものニュースに食料や物資を送る。とても崇高な気持ちです。ちょっと待って。日本にはそのような子供はいないのですかと言ったら、今、日本の子どもの貧困が問題だと言います。子どもの貧困への対応を目的として活動するロータリークラブもできています。普通の人たちが非日常と感じる部分をロータリアンは知らず知らずのうちに日常としていることに気が付かないといけないのではと思います。ロータリーを理解して欲しい、公共イメージを向上させ、認知度を向上させたいと考えるなら、先ず自分を見つめ直し、普通の、普通の、普通に戻ってみることも必要なのではないでしょうか。そして、ロータリーで得た感覚を大切に、より幅の広い人となった時、新しい感動に出逢える機会が増えるのかも知れません。感動できるロータリーを退会する人はいないと思います。普通の自分に戻って、感動探しのロータリーで活動してはどうでしょう。

連呼の意義



第2地域 ロータリー公共イメージコーディネーター 神野 正博 (七尾 RC)

国政選挙から地方議会議員選挙といかに民主主義のためとはいえ、毎年のようにお騒がせイベントがある。血沸き肉躍る御仁もいれば、「うるさい！」と顔を背ける御仁もいる。何がお騒がせかと言えば、小さな単位の選挙であればあるほど選挙カーという街宣車が、候補者名を拡声器でただただ連呼するからである。

本来、選挙では候補者の公約や政策に共感することで一票を投じるはずだ。名前を連呼する意味はあるのか。一方で、演説会ではなく、街中を疾風のように走る選挙カーで、政策は伝わるのか。。。連呼するの意味は、名前を知って欲しい、名前を入口として候補者自身に関心を寄せてほしいの一心なのだ。

そんな折、最近気になるテレビCMが増えてきた。それは、われわれ消費者の購買意欲を掻き立てるような従来型CMではないものだ。食品、化粧品、家電、日用品、衣類から車、住居などの消費財、さらには携帯キャリアや銀行などサービスを提供する企業などのCMは消費者に選んでもらうブランドを訴え、買うことによって得るであろう豊かな経験を訴える。これに対して、消費者が購入した品物の中に秘かに使われている素材を作る企業や道路・橋脚などの大型公共工事企業など消費者が直接発注することはない企業のCMがある。こういった企業が一般向けにCMを流す意義がどこにあるのだろうか。

例えば、カリスマ経営者、永守重信氏が率いるニデック（今年4月に日本電産より社名変更）のCMも人気女優を使って社名を連呼する。CMからは何を作っているのかわからない。私たちが日常使う携帯、デジカメ、車やロボットなどに搭載されている最先端の超小型モーターやセンサーを作る。私たちはこの会社名を知ることなく恩恵に浴している。

社名を連呼する意義は、選挙における候補者と同じく名前を知って欲しいのだろう。それは、直接注文を受けることではなく、企業イメージの向上、社員の誇りやリクルートのためでなかろうか。人手不足の中で、自らのパートナーや子供たちが就職する企業が誰も知らないのでは不安だ。会社名こそが、ブランド資産であり、まずはそのブランドが誰の目に留まり、口に上ることが重要だ。そのあと、関心を持った人間が、より深まって中身を知る。選挙の連呼による入口戦略と同じということになる。

日本には隠匿の精神があった。しかし、自らに誇りを持ち、そして仲間を増やすためには、自らの企業名を前面に出す入口戦略が重要な時代のようなのだ。ロータリーも然りである。会員が誇りを持ち、社会から関心を持ってもらうため、仲間を増やすためには、Rotaryを露出しよう、連呼しよう。



第3地域 ロータリー財団地域コーディネーター補佐 中野 均 (堺東 RC)

第3地域ロータリー財団コーディネーター補佐を前任者四宮孝郎氏より引き継ぎを受けました中野均 (RID2640 堺東 RC) でございます。四宮氏とは、同期ガバナー（2019-20年度）でございます。四宮氏ほどの力量はございませんが、第3地域永田ロータリー財団地域コーディネーターの下、与えられた任務を全うしたく取組ませていただく所存でございます。

日本のロータリークラブ全てで取り組んでいます年次基金寄付ゼロクラブ「0」ですが、当地区において、ゼロクラブを発生させてしまいましたことを深くお詫び申し上げます。今年度こそ発生させないよう既にガバナーとともに行動しています。

日本のロータリーとして今年度も同様の取り組みがなされます。第3地域内ロータリークラブの皆さまには、前年と同様にご理解願ひ、なるべく早く寄付金の送金をしていただきますよう宜しくお願い申し上げます。なお、この地域には、3人の補佐がいます。私は、福井県を含む近畿地方4地区（2640,2650,2660,2680）を担当させていただきます。1年目の補佐ですが、担当地区内の皆さまにお役に立てるよう努力させていただきます。

ロータリー財団を取り巻く環境は、種々ございますが、この NEWS が発行される翌月10月は、24日が世界ポリオデーです。既にこの日に向けて効果的なイベントを計画されていることと思います。私たちロータリアンは、ポリオ根絶 PR や募金活動をするにもポリオについて認識を正しく持ち、そして理解しなければなりません。その上で地域住民の方に理解して貰う活動をしていただくこととなります。期間は、この日のみにとらわれず、ある程度の期間を通じて活動することもあり、是非、行動を起こしていただきますようお願い申し上げます。PRの方法として、SNS や YouTube 他メディアを利用して実施されている地区やクラブもあり、可能な限りこのような方法で広報していただければ、ロータリークラブの認知度向上に繋がると信じています。また、場合により、ロータリー公共イメージコーディネーターのお力を借りることも良いのでは。と思う次第でございます。

ポリオ根絶が目前となりました。各地区・クラブのポリオ根絶に向けた活動をガバナー、地区財団委員長とともに実施して参りましょう。併せて活動報告も楽しみにしています。

8月会員数・例会数報告

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数			
			2023.7.1	2023.8.31	増減	内女性
1	深 川	3	30	29	-1	2
	羽 幌	3	34	34	0	1
	留 萌	4	25	25	0	4
	小 計		89	88	-1	7
2	赤 平	3	19	19	0	2
	芦 別	2	26	26	0	1
	砂 川	3	39	39	0	2
	滝 川	4	85	86	1	6
	小 計		169	170	1	11
	3	美 唄	4	19	19	0
江 別		4	34	36	2	1
江 別 西		4	34	34	0	3
岩 見 沢		4	87	92	5	1
岩 見 沢 東		3	12	12	0	1
栗 沢		3	16	16	0	0
栗 山		3	24	24	0	4
当 別		4	26	27	1	2
小 計			252	260	8	13
4		札 幌	3	119	126	7
	札幌はまなす	3	18	21	3	2
	札 幌 北	2	37	37	0	6
	札幌モーニング	3	36	37	1	0
	札 幌 西	4	47	45	-2	8
	札 幌 西 北	4	38	38	0	6
	札 幌 手 稲	3	34	35	1	3
	小 計		329	339	10	28
5	札 幌 東	3	109	109	0	1
	札 幌 清 田	2	11	11	0	3
	札 幌 幌 南	3	59	61	2	4
	札幌真駒内	3	21	21	0	6
	札 幌 南	3	82	82	0	5
	札幌大通公園	2	12	13	1	3
	札幌ライラック	2	10	11	1	1
	新 札 幌	3	25	25	0	6
小 計		329	333	4	29	
6	岩 内	3	24	24	0	1
	倶 知 安	2	32	33	1	3
	小 樽	3	74	76	2	5
	小 樽 南	3	52	51	-1	3
	小 樽 銭 函	3	11	11	0	1
	蘭 越	2	9	9	0	0
	余 市	3	38	38	0	3
	小 計		240	242	2	16

8月会員増減数

クラブ数	69
期首会員数	2,361人
当月末会員数(女性)	2,407人(186人)
増加会員数	46人

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数			
			2023.7.1	2023.8.31	増減	内女性
7	千 歳	3	74	75	1	12
	千歳セントラル	3	44	43	-1	10
	恵 庭	4	45	45	0	3
	北 広 島	3	15	16	1	1
	長 沼	2	15	15	0	3
	由 仁	2	7	7	0	0
	小 計		200	201	1	29
8	え り も	2	16	16	0	1
	三 石	3	11	11	0	0
	様 似	3	12	12	0	2
	静 内	3	59	59	0	4
	浦 河	3	16	18	2	2
	小 計		114	116	2	9
	9	伊 達	3	59	59	0
室 蘭		4	29	32	3	2
室 蘭 東		3	26	28	2	2
室 蘭 北		4	49	49	0	2
登 別		4	25	25	0	2
洞 爺 湖		1	10	10	0	1
小 計		198	203	5	11	
10	函 館	4	63	72	9	2
	函 館 亀 田	3	30	32	2	3
	森	2	35	35	0	1
	七 飯	4	14	14	0	0
	長 万 部	3	9	9	0	0
	函館セントラル	4	22	23	1	2
	小 計		173	185	12	8
11	江 差	2	9	9	0	0
	函 館 五 稜 郭	3	56	56	0	1
	函 館 東	4	35	36	1	7
	函 館 北	1	11	11	0	1
	北 斗	4	11	11	0	0
	小 計		122	123	1	9
12	白 老	3	29	29	0	3
	苫 小 牧	3	59	59	0	3
	苫 小 牧 東	4	32	33	1	8
	苫 小 牧 北	3	26	26	0	2
	小 計		146	147	1	16
合 計		2,361	2,407	46	186	

※岩見沢RCには岩見沢ネクストロータリー衛星クラブの会員数16名(内女性会員0名)を含む

※札幌西北RCには札幌西北ひまわりロータリー衛星クラブの会員数9名(内女性会員3名)を含む

※函館五稜郭RCには五稜郭すずらんロータリー衛星クラブの会員数8名(内女性会員0名)を含む

地区カレンダー10・11月

10月 経済と地域社会の発展月間/米山月間	
1 (日)	
2 (月)	
3 (火)	公式訪問(伊達RC、七飯RC)
4 (水)	公式訪問(森RC)
5 (木)	公式訪問(函館RC、北斗RC)
6 (金)	公式訪問(函館五稜郭RC)
7 (土)	
8 (日)	
9 (月)	スポーツの日
10 (火)	公式訪問(函館セントラルRC、江差RC)
11 (水)	
12 (木)	
13 (金)	地区大会記念ゴルフ大会
14 (土)	地区大会(小樽)
15 (日)	地区大会(小樽)
16 (月)	
17 (火)	公式訪問(北広島RC)
18 (水)	札幌東RC創立65周年記念ゴルフ大会
19 (木)	公式訪問(登別RC)
20 (金)	第8回日台ロータリー親善会議(台北)
21 (土)	
22 (日)	
23 (月)	公式訪問(函館亀田RC)
24 (火)	公式訪問(函館東RC)
25 (水)	公式訪問(恵庭RC)
26 (木)	公式訪問(岩見沢RC)
27 (金)	
28 (土)	
29 (日)	
30 (月)	
31 (火)	公式訪問(室蘭北RC)

11月 ロータリー財団月間	
1 (水)	
2 (木)	
3 (金)	文化の日
4 (土)	
5 (日)	
6 (月)	
7 (火)	
8 (水)	公式訪問(札幌RC)
9 (木)	公式訪問(江別RC)
10 (金)	公式訪問(小樽南RC)
11 (土)	森RC創立60周年記念式典
12 (日)	
13 (月)	
14 (火)	
15 (水)	
16 (木)	
17 (金)	
18 (土)	
19 (日)	ロータリー財団地域セミナー(神戸)
20 (月)	第2回ガバナー会(神戸) 第2回ガバナーエレクト研修セミナー(神戸) 第1回ガバナーノミニー研修セミナー(神戸)
21 (火)	ロータリー研究会(神戸)
22 (水)	ロータリー研究会(神戸)
23 (木)	勤労感謝の日
24 (金)	
25 (土)	
26 (日)	RLIセミナー パートII
27 (月)	
28 (火)	
29 (水)	
30 (木)	

2026-2027年度ガバナーノミニー候補者推薦のお願い

地区ガバナー 松浦 光紀

地区ガバナー指名委員長 福井 敬悟

2026-2027年度地区ガバナーノミニー候補者として適格な会員が在籍しており、地区ガバナー指名委員会の審議を希望する地区内クラブは、12月1日必着にて、地区ガバナー指名委員長（地区ガバナー事務所気付）宛に指定の書式にてご推薦ください。（書式はガバナー事務所にお問い合わせください）

なお、地区ガバナーノミニー資格条件については、国際ロータリー細則第16.010.節～第16.020.節の資格条件に適していることを要します。

[参考] 国際ロータリー細則第12条（ガバナーの指名と選挙）
国際ロータリー第2510地区 地区ガバナー指名委員会規定
（1998-1999年度地区年次大会決議第8号）

ガバナー事務所からお願い

1. クラブの例会・会員数報告について

毎月の最終例会から15日以内にガバナー事務所へFAXかメールにて提出するようお願い致します。

2. 変更等のご報告について

新会員、退会者、会員資格変更、クラブ事務所、例会場、例会日、時間の変更、会長、幹事等の移動の場合、所定の手続きによりご報告下さい。新しく会員が入会された時は写真を同封の上、氏名、入会日、職業分類をお知らせ下さい。

また、会員にご不幸があった場合には、氏名、年齢、ロータリー歴、お写真を至急ご報告くださいますようお願い致します。

3. クラブの移動例会等について

地区ホームページにフォームがありますので、アクセスしてご連絡下さい。地区ホームページ⇒クラブ情報⇒例会変更フォームの順でアクセスできます。（ホームページにアクセスが難しい場合はFAX、メールでお送り下さい）

4. 各月ごとのクラブ会報について

当該月の最終例会終了後、まとめて毎月ご送付下さい。

5. ガバナー月信への原稿寄稿について

特にクラブの活動、トピックス、地域内の話題等、400字前後に写真1～2枚をご同封願えればと考えています。原稿締切り日は毎月5日です。（メールでのご連絡にご協力ください）

ガバナー事務所

〒060-0042 札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7階

TEL(011)207-2510 / FAX(011)207-2512

E-mail: rid2510@pxva.ne.jp 執務時間: 午前10時～午後5時30分(土・日・祝日休み)

最新ロータリーレートは地区HPをご覧ください

ガバナー事務局だより

私が寄稿するガバナー事務局だよりも4回目を迎えました。10月は本地区の地区大会開催月ということもあり、10月号の発行が大幅に遅れたことをこの場を借りお詫び申し上げます。また反省しきりの心境でございます。

上半期の主要事業でありますクラブ公式訪問も残すところあとわずかとなりました。私自身松浦ガバナーと共に個性豊かな14のクラブに随行させていただきました。進行役、ニコニコの発表、4つのテストの唱和方法など色々なスタイルに戸惑ったり、驚いたり、感心したりと改めて新たな気づきの連続を楽しませていただきました。

さてさて、猛暑の夏もすっかり影を潜めて、北国の長い冬に向かって季節は移り変わりました。みなさん、体調管理に注意しロータリーライフを楽しみましょう。

追伸

出村ガバナーエレクト事務所が9月1日より開設し、藤城次期地区代表幹事を中心に着々と次年度に向けた準備に入っています。私も3年間の地区幹事の集大成としてお手伝いさせていただく所存です。

地区代表幹事 斎藤 仁

編集後記

皆さま、いつも月信をお待ちいただき、誠にありがとうございます。

小樽で開催されました地区大会にご協力、ご参加いただきました皆さま、心より御礼申し上げます。ガバナー月信委員会のメンバーも地区大会の準備が多忙だったため、月信の編集が大変遅れましたこと、読者の皆さまには大変ご迷惑をおかけいたしました。この場を借りて深くお詫び申し上げます。

地区大会の準備の中でロータリークラブに関して多くの新たな気づきと発見があり、私たち編集部も非常に学びの多い時間を過ごしております。この経験をこれからの月信の編集にも活かして参ります。

続く月信も皆さまの期待に応えられるよう、編集担当一同、最善を尽くしてまいります。今後とも、変わらぬご支援とご愛読をよろしくお願い申し上げます。

ガバナー月信委員会 中山仁史

表紙の解説

天狗山雲海

小樽天狗山の山頂からの壮大な景色は、多くの訪問者を魅了してきました。通常、ここからは小樽の市街地の全景や石狩湾を一望できるが、この日の早朝は特別だった。夜明けの美しい空の下、山頂は雲に包まれ、一面の雲海となっていた。太陽の光が雲を染め、幻想的な雰囲気醸し出している。このような雲海を目の当たりにすることは稀で、まるで別世界に迷い込んだかのような感覚になる。早朝の天狗山は静寂に包まれている。ロープウェイは運行していないため、観光客は山麓に車を停めて登山するか、山頂への裏道を自家用車で向かうしかない。しかし、その手間をかけてでもこの雲海を見る価値は十分にある。実際、小樽の雲海は朝の観光スポットとして次第に人気が高まっている。天狗山の山頂からの景色は、四季折々の変化を楽しむことができるが、このような雲海に出会えるのは運が良い時だけ。一度は訪れて、この特別な景色を自分の目で確かめてほしい。



写真:© 中山 仁史 / K2.

